

国民連構想を北京から問う



中朝英四國語グローバル時代の人間科学『中国古典名言録』の刊行を受けた。財団法人人間自然科学研究所は小松昭太理事長、魏興博士理事、掘江研次郎教授の三人で訪中。北京の学術出版社（五色堂）にて二〇〇八年十二月二日出版を記念したオートマチック出版式の手稿を開催した。会議は「和」と「諧」が同出する「スマートパワー」をつとめ、「健やかな命のための認識が示され、世界の多くの方々に人類の共生文化が生まれるために中国古語を読みなさい」と題された。

この座談会は邢雁、中国語報協会会長、張可喜、中日経済文化協会事務局長、三井機電技術研究所、孟正、中日戦争記念館館長、唐勝輝、中国社会科学院日本研究所、中央編集局外専門家、張雲華、中国国書館副編集長などが出典。今回の出版式には、同席取材を受けた。また韓親会に朴道、九三社中央委員会副主席も出席。

朴氏によれば、この会議は「和」と「諧」が主軸で、世界の多くの方々に

中国の文化を理解してもらいたいとの願いが込められた。

中日朝英四國語を使ったことにより、米国の「和」ではありますか。

「和」ではありますか。

「和」ではありますか。